

そよかぜ

第79号

地方独立行政法人 神戸市民病院機構

神戸市立 西神戸医療センターの基本理念

**神戸西地域に根づいた
安心・安全な医療をめざします**

発行日／令和 8 年 6 月
編集人／総務課長 坂本 秀明

<https://nmc.kcho.jp/>



平素より西神戸医療センターをご利用いただき、誠にありがとうございます。

このたび、2026年4月1日付で副院長を拝命いたしました西原賢在(にしはら ますみつ)と申します。

私は1994年に医師免許を取得後、神戸大学医学部附属病院などで研鑽を積み、脳神経外科医として脳卒中や脳腫瘍を中心に診療に携わってまいりました。2010年に当院へ赴任して以来、脳神経外科医長として地域の脳疾患診療に従事し、その後、2018年よりリハビリテーション科部長代行としてリハビリテーション医療の充実にも取り組んでまいりました。2023年からは脳神経外科部長として診療を担い、このたび副院長に就任いたしました。

医師となって間もない頃、1995年の阪神・淡路大震災を経験し、研修医として被災された多くの患者さんの診療に携わりました。医療資源が限られる中でも、医療従事者や地域の方々が一丸となって命を守ろうとする現場に身を置いた経験は、医療の原点を深く心に刻むものであり、現在の私の診療姿勢の礎となっております。

当院ではこれまで、迅速で質の高い医療の提供を目指し、体制づくりに力を注いでまいりました。特に脳卒中診療においては、2015年度の「脳卒中ホットライン」導入に中心的に関わり、救急隊と直接連携することで、患者さんをより早く受け入れ、速やかに治療へつなげる体制を整備してまいりました。

また、脳腫瘍の診療においては、神戸大学と連携し、ニューロナビゲーション(手術中に病変の位置を正確に把握する技術)を活用した、安全性の高い脳腫瘍生検手術の研究と実践に取り組んでまいりました。こうした研究活動が評価され、昨年、国際的な学術団体であるSigma Xiのフルメンバーに選出されました。

さらに、がん患者さんの機能回復や生活の質の向上を目的とした「がんリハビリテーション」の立ち上げに関わり、その後リハビリテーション科部長として、多職種が連携した支援体制の構築を進めてまいりました。

今後は、病院全体の医療の質や安全性をより高めるための取り組みを推進してまいります。診療体制や医療の内容を定期的に見直し、より安全で質の高い医療が提供できているかを確認しながら、改善を重ねてまいります。患者さんにとって安心して受診できる環境づくりを、病院全体で進めてまいります。これまで培ってきた経験を生かし、安心して受診していただける医療の提供に努めるとともに、急性期から回復期、在宅医療に至るまで切れ目のない医療体制の充実を図ってまいります。また、地域の医療機関との連携をさらに深め、患者さん一人ひとりに寄り添った医療を大切にまいります。

これからも職員一同、地域の皆さまに信頼される病院づくりに努めてまいります。

患者さんご家族の命と生活を支える最後の砦としての責任を胸に、「この病院でよかった」と思っていただけ医療を、職員一同とともに全力で実現してまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。



副院長
西原 賢在

搬送用ロボットをご紹介します

この春、搬送用ロボット3台が西神戸医療センターの新しい仲間に加わりました！
院内で一生懸命はたらく姿を見かけた方も、既にいらっしゃるかもしれません。
今回は、ロボットたちの役割や仕組みについてご紹介します。



\\ 🔍 知りたい！ロボットのこと \\

Q どんな仕事をしているの？

ロボットは患者さんに関わるとても大切なものを運んでいます。

① 検体

病棟で入院中の患者さんや救急外来の患者さんからいただいた血液等の検体を、臨床検査技術部に搬送しています。



② 薬剤

薬剤部で調剤した服用薬や注射薬を、各病棟のスタッフステーションに搬送しています。



Q 自動で動いているの？

スタッフが呼び出したり行き先を指示したりすると、インプットしている院内の地図をもとにルートを考えて、自動で目的地まで動きます。

Q 人とぶつかることはないの？

ロボットの頭上でくるくる回転しているセンサーによって、周囲の状況や、自分がどこを走行しているか認識しています。

そのため、人が近づくとゆっくり止まったり、避けたりして安全に走行します。

高い位置にありますが、足元にあるものも検知することができます。



Q 中に入っている物が盗まれることはないの？

ロボットの扉には鍵がかかっていて、当院のスタッフ以外は開けられません。

また、360 度録画できるセキュリティカメラも付いています。



Q 動いている途中で充電切れにならないの？

電池が少なくなってくると、自分から充電ステーションに帰って充電する仕組みになっています。

Q 別の階にはどうやって移動するの？

3号機エレベーターと連携しているので、自分でエレベーターを呼んで、行きたい階に移動することができます。

患者さんやご家族の方へのお願い



● ロボットは優しく見守ってください。

ロボットが仕事をしている時や充電ステーションで休んでいる時は、安全のため、お手を触れずに心の中で応援してあげてください。



●「ロボット停止位置」のスペースは空けてください。

各病棟のスタッフステーションや各階のエレベーターホールにおいて、床に「**ロボット停止位置**」と書かれた場所があります。ロボットの停止・移動のために必要な場所ですので、その上に立ったり、荷物を置いたりしないようにお願いします。



● 3号機エレベーターは関係者のみ利用してください。

ロボットが使用する3号機エレベーターは一般の方はご利用いただけません。ロボットと一緒に乗り込むことのないようご注意ください。



ロボットの最新技術の力を借りることで、より安心・安全な医療を地域の皆様に提供できるよう努めてまいります。院内で一生懸命はたらく姿を見かけられたら、ぜひ温かく見守っていただけますと幸いです。

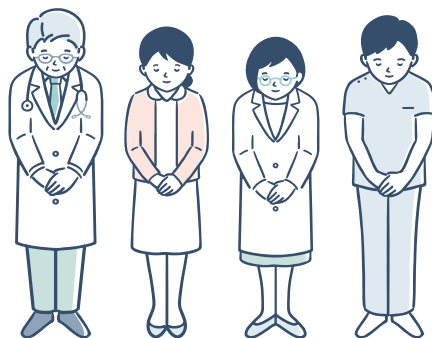
ご寄付のお願い

当院は「神戸西地域に根づいた 安心・安全な医療をめざします」を基本理念とし、救急医療・高度医療を中心に、地域の健康維持に努力しています。

新しい医療に対応するためには、常に最新の機器整備をおこなう必要があります。

そのためには多額の資金が必要となり、財源の確保に日々苦慮しているところです。

皆様に寄付という形で当院の運営に共に携わっていただきたいと思っておりますので、金額の多寡に拘わらずご支援を賜りますようお願い申し上げます。なお、当院にご寄付いただいた場合は、税制上の優遇措置を受けることができます。



お問い合わせ先

神戸市立西神戸医療センター 事務局総務課総務係

電話：078-997-2200（代表） Fax：078-997-2220

夏休みの
宿題にも! //

神戸市立西神戸医療センター

参加費
無料

親子で学ぶ

心肺蘇生と応急処置

対象

四年生・五年生・六年生

親戚・友人が突然倒れたら・・・対応できますか？
心臓マッサージと AED の使い方を習得して救助に踏み出せる人になりませんか？



令和8年

8月1日(土) 13時30分～ 1時間程度

場所

地域医療ホール（神戸市立西神戸医療センター東隣）

内容

- ①「からだの『おと』を聴いてみよう」
- ② 心肺蘇生実技講習

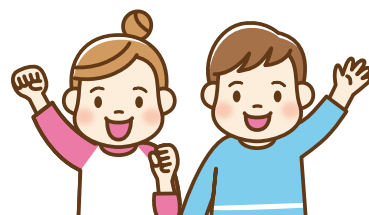
申込方法

①学校名②参加氏名及びフリガナ③性別④年齢⑤学年
⑥保護者氏名⑦郵便番号、住所⑧当日緊急連絡先
8項目を記載の上、7/17（金）までに下記メールアドレスへお送りください
当日になってキャンセルする場合、連絡は不要です。動きやすい服装でお越しください。
感染予防の為、マスクの着用をお願いいたします。
（駐車場をご利用の際は、有料となっております）

お申込み
お問合せ

TEL：078-997-2200
E-mail：n_soumu@kcho.jp

実際の聴診器を
使用した
体験学習です!!!



主催：神戸市立西神戸医療センター ICLS 教育推進チーム

Q 心理士とは？

臨床心理学にもとづく知識や技術を活かし、人の心の問題にアプローチする心の専門家です。医療、教育、産業、福祉、司法など、さまざまな領域で活動しています。当院では、心理士の全員が、国家資格の公認心理師と日本臨床心理士資格認定協会認定の臨床心理士の両方の資格を取得しており、症状の緩和や心の悩みを抱えた方への心理面の支援を行っています。

Q どんな業務をしているの？

心理士の業務は、外来での業務と病棟での業務に大きく分かれ、割合としては半々くらいです。悩みやおつらさには様々なものがありますが、それらに直面し心理的援助を求めておられる方に、医師の指示のもと、心理検査やカウンセリング・心理療法を、それぞれの方の状況や年齢、ご希望に応じて実施しています。チーム医療の中で、多職種と協働し、間接的なサポートを行うこともあります。

Q 患者さんとの関わりで心がけていることは？

目の前の患者さんと向き合い、患者さんの話をしっかり聞くことを大切にしています。患者さんの気持ちが少しでも和らいだり、問題解決に繋がるきっかけとなり、次もまた相談できる場所として思い出していただけたら嬉しいです。

